

第3号様式

(第1面)

事業活動地球温暖化対策結果報告書

(あて先) 川崎市長

郵便番号 160-8309

住 所 東京都新宿区西新宿1-8-3小田急明治安田生命 ビル

氏 名 小田急電鉄株式会社

取締役社長 星野 晃司

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

川崎市地球温暖化対策の推進に関する条例第10条第1項の規定により、次のとおり提出します。

事業者の氏名 又は名称	小田急電鉄株式会社		
主たる事務所 又は事業所の所在地	川崎市麻生区上麻生1-4-1		
該当する事業者 の要件	<input checked="" type="checkbox"/> 規則第4条第1号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第2号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第3号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第4号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 上記以外の事業者 (任意提出事業者)		
主たる事業 の業種	大分類	H	運輸業, 郵便業
	中分類	42	鉄道業
主たる事業 の内容	鉄道を使用した旅客輸送の運営		
事業者の規模	<input checked="" type="checkbox"/> 原油換算エネルギー使用量	4,238	k l
	<input type="checkbox"/> 自動車の台数		台
	<input type="checkbox"/> エネルギー起源の二酸化炭素 以外の温室効果ガスの排出の量		t-CO ₂
連絡先	担当部署	担当部署名	
		所在地	
		電話番号	
		FAX番号	
		メールアドレス	
※受付欄		※特記事項	※事業者番号

(第2面)

計画期間及び報告年度	2019 年度 ~ 2021 年度 (報告年度 2020 年度分)
温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成状況及び温室効果ガスの排出の量	別添 指針様式第2号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の実施状況	別添 指針様式第2号のとおり
他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置の実施状況	別添 指針様式第2号のとおり
その他地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項	別添 指針様式第2号のとおり
備 考	

- 備考 1 欄内にすべてを記載できない場合は、別紙により提出してください。
2 □のある欄は、該当する□内にレ印を記載してください。
3 報告書には、事業活動地球温暖化対策指針に定める資料を添付してください。
4 ※印の欄は記入しないでください。
5 氏名(法人にあっては、その代表者)を記載し、押印することに代えて、本人(法人にあっては、その代表者)が署名することができます。

事業活動地球温暖化対策結果報告

1 温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成状況 (第1、2、4号該当者等)

(1) 計画期間における温室効果ガスの排出の量等の状況

ア 温室効果ガスの排出の量

	基準年度 (2018 年度)	第1年度 (2019 年度)	第2年度 (2020 年度)	第3年度 (年度)	目標排出量
排出量 (t-CO2)	(実) 7,680 (調) 7,484	(実) 8,770 (調) 8,691	(実) 7,934 (調) 7,737	(実) (調)	(実) 7,452 (調)
削減率		(実) -14.2 % (調) -16.1 %	(実) -3.3 % (調) -3.4 %	(実) % (調) %	(実) 3.0 % (調) %

イ 温室効果ガスの排出の量に係る原単位等の値 (任意記載)

原単位等の活動量	延床面積				原単位等の単位	t-CO2/m2
	基準年度 (2018 年度)	第1年度 (2019 年度)	第2年度 (2020 年度)	第3年度 (年度)		目標とした値
排出量原単位等の値	0.06128	0.07801	0.05750			0.05945
活動量の値	125324.1	112415.2	137967.2			-
排出量原単位等の削減率		-27.3 %	6.2 %	%	%	3.0 %

ウ 計画期間の温室効果ガスの排出の量の状況等についての説明

第1年度	2018年度末にエネキ-使用量の少ない小田急77°ロ登戸店が閉店となり、2019年度から農住ビルア-とネディングパ-ク黒川の物件が追加され、エネルギー使用量が基準年度に対し-13.9%となり、CO2排出量は-14.2%削減となった。また、2019年度に追加した農住ビルア-とネディングパ-ク黒川の原単位は、0.06740t-CO2/m ² と高く全体の原単位を引き上げ、基準年度に対して-4.9%となっ
第2年度	コロナ禍の影響が続き商業施設の休業が営業時間の短縮などの実施により、排出量原単位が6.1%減少となった。
第3年度	
計画期間における排出量増減等の評価 (第3年度の報告時に記載)	
上記評価を踏まえた改善対策など (第3年度の報告時に記載)	

(2) 温室効果ガスの排出の量の状況 (全社目標) (任意記載)

--

3 温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の実施状況

(1) 措置の実施状況

(各年度において、計画に記載がない装置を実施した場合は、実施した内容の最後に（追加実施）と記載してください。)

<p>計 画</p>	<p>(1) 中長期設備投資計画により対前年度比1%以上の低減を目指していく。 ①照明設備の更新：水銀灯および蛍光灯をLED化する。 ②熱需要の変化に対応できる容量の設備を選定して導入する。 ③ヒートポンプ等の高効率熱源設備へ更新する。 (2) 従業員へ環境目標の周知とともに、省エネ教育を実施する。</p>
<p>第1年度</p>	<p>(1) 中長期設備投資計画により対前年度比1%以上の低減を目指し取り組んだ。 ①照明設備の更新：駐車場の一部蛍光灯をLED化し更新した。 ②③熱需要の変化に対応できる容量の設備選定を含め、高効率熱源設備への更新計画を進捗させた。 (2) 従業員へ環境目標の周知とともに、省エネ教育を実施した。</p>
<p>第2年度</p>	<p>(1) 中長期設備投資計画により対前年度比1%以上の低減を目指し取り組んだ。 ①照明設備の更新：設備更新時は積極的にLED化を実施した。 ②③熱需要の変化に対応できる容量の設備選定を含め、高効率熱源設備への更新計画を進捗させた。 (2) 従業員へ環境目標の周知とともに、省エネ教育を実施した。</p>
<p>第3年度</p>	
<p>計画期間における取組の評価 (第3年度の報告時に記載)</p>	

(2) 再生可能エネルギー源等の利用等

ア 前年度における再生可能エネルギー源等の利用に係る検討状況

(追加検討を実施した場合は「○」、追加の検討を実施していない場合は「×」を記載してください。また、追加検討を実施した場合はその結果を記載してください。)

再生可能エネルギー源等の種類	追加検討の有無	検討結果
太陽光	×	
風力	×	
バイオマス	×	
未利用エネルギー	×	
その他()		
その他()		

イ 再生可能エネルギー源等を利用した設備の導入状況・計画及び再生可能エネルギー源等の価値の保有状況・計画

種類	概要(規模、場所など)	導入(保有)年度
風力太陽光発電	発電能力：5.6kW 導入場所：はるひ野駅	平成16年度
太陽光発電	発電能力：10kW 導入場所：五月台駅	平成17年度
太陽光発電	発電能力：10kW 導入場所：栗平駅	平成17年度
太陽光発電	発電能力：10kW 導入場所：黒川駅	平成17年度
太陽光発電	発電能力：27kW 導入場所：小田急ICTセンター	平成24年度

(3) 前年度に実施したエネルギーの効率的な利用を図るための設備等の導入状況

(追加導入がある場合は「○」、追加導入がない場合は「×」を記載してください。)

設備等の種類	追加導入の有無	設備等の種類	追加導入の有無
電気自動車等への充電設備	×	エネルギー管理システム (FEMS、BEMS等)	×
電気自動車等から建物等への給電設備	×	その他()	
EV、PHV、FCV	×	その他()	

4 他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置の実施状況

(各年度において、計画に記載がない措置を実施した場合、実施した内容の最後に(追加実施)と記載してください。)

計 画	他の者の温室効果ガスの排出の抑制に寄与する取組みを行っていますが、定量化できる取組みはありません。
第1年度	定量化できる取組みはありません。
第2年度	定量化できる取組みはありません。
第3年度	

5 その他、地球温暖化対策の推進への貢献の実施状況

(各年度において、計画に記載がない措置を実施した場合、実施した内容の最後に(追加実施)と記載してください。)

計 画	川崎市と当社の包括連携協定に基づき、駅を中心としたまちづくり・環境に優しい公共交通機関の利用促進施策を進め、CO2排出量の削減を推進する。
第1年度	川崎市と当社は2016年度包括連携協定を締結、その取組みの一つとして「駅を中心としたまちづくり・環境に優しい公共交通機関の利用促進」に取り組んでいる。 <ul style="list-style-type: none"> ・新百合ヶ丘駅南口駅前広場再整備 ・複々線化実施に伴う登戸駅の4線化と2021年3月1番ホームから4番ホームにホームドア設置 ・2021年2月~5月に新百合ヶ丘駅周辺でオンデマンド交通しんゆりシャトルバス実証運行
第2年度	第1年度と同じ
第3年度	

6 基準年度からのエネルギー起源CO₂の排出の量等の推移（1、2号該当者等）

(1) 事業者単位

	基準年度	第1年度	第2年度	第3年度
エネルギー起源CO ₂ 排出量	7,680 t-CO ₂	8,770 t-CO ₂	7,934 t-CO ₂	t-CO ₂
原油換算エネルギー使用量	4,065 KL	KL	4,238 KL	KL
事業所の数	12	13	15	

(2) 事業所等単位

ア 基準年における年間の原油換算エネルギー使用量が 1,500kl 以上の事業所

事業所の名称	事業所の所在地	エネルギー起源CO ₂ の排出量 (t-CO ₂)			
		基準年度	第1年度	第2年度	第3年度
新百合ヶ丘エルミロード	川崎市麻生区上麻生1-4-1	3,542	3,378	3,089	

イ 基準年における年間の原油換算エネルギー使用量が 500kl 以上 1,500kl 未満の事業所

事業所の名称	事業所の所在地	エネルギー起源CO ₂ の排出量 (t-CO ₂)			
		基準年度	第1年度	第2年度	第3年度
アコルデ北館	川崎市麻生区万福寺1-17-1	1,161	1,312	929	
小田急ICTセンター	※ ※ ※ ※	1,068	1,039	975	